



TITLE:

まえがき

AUTHOR(S):

高橋, 秀典

CITATION:

高橋, 秀典. まえがき. 技術室報告 2019, 20

ISSUE DATE:

2019-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/244445>

RIGHT:

まえがき

京都大学防災研究所技術室長 高橋 秀典

京都大学防災研究所技術室の2018年度の活動成果をまとめた技術室報告第20号が完成しました。

技術室報告を読んでいただくことによって、それぞれの技術職員の2018年度における技術支援実績や、それぞれの技術職員が持つスキルなどの一端を知っていただけると幸いです。

防災研では、技術支援を希望する教員の皆様から、技術支援依頼票を技術室にご提出いただくことになっています。2018年度の技術支援依頼件数は、合計60件でした。内訳は短期支援依頼が48件、長期支援依頼が12件です。ちなみに、2013年度から2017年度までの5年間の平均で、短期支援依頼が36.4件、長期支援依頼が15.8件となっています。

技術支援依頼の件数は、年度によってばらつきがあります。2013年度から2017年度までの5年間で短期支援依頼の件数が最多だったのは、2014年度の44件でした。2018年度は、わずかながら上回ることができました。

工作関係の技術支援依頼が例年に比べて増えたほか、出張を伴う短期支援依頼が多かったことが目立った点です。長期支援先の支援業務を担いながら、ほかの短期支援をすることは、技術職員にとって容易なことではありません。特に出張が必要な場合は、スケジュール調整などの点で難易度が増します。教員の皆様と技術職員とが日程を調整することで、出張を伴った短期支援依頼にも対応することができます。ほかの短期支援のために、快く技術職員を送り出してくださった長期支援先の教員の皆様には、この場を借りて感謝申し上げます。

技術職員に対する所内のニーズや期待は、さまざまだと認識しています。われわれ技術職員一人ひとりが技術と技能を磨き、所内の技術支援のニーズや期待に少しでも多くこたえられるよう今後も精進して参ります。

防災研技術室は、これからも教員の方々、事務部の方々に、ご理解と一層のご支援をいただけると期待しておりますので、よろしくお願いいたします。

末筆になりましたが、技術室報告第20号の取りまとめに当たってご協力いただいた皆さんの労に深く感謝いたします。